

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS

# AGU News



AGUニュース第63号 [2012年8月~10月号]

2012  
No. 63 青山学院大学  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25  
URL. <http://www.aoyama.ac.jp>

特集 学長が語る青山学院大学のこれから

## 共に学び、探究し、 世界に発信する大学へ

仙波 憲一学長 × 平澤 典男副学長

地域密着。環境とリンクした 相模原祭 今年のテーマは「青学魂」

**TOPICS** 芸術の本質に五感を駆使して向き合う比較芸術学科

2013年度には大学院の開設を計画!

パッサ・コレギウム・ジャパン レクチャーコンサート

2011年度 卒業生の進路・就職状況

**誌上公開講座** Aogaku Lecture⑥

科学・技術の視点—21世紀の課題 生命・環境・エネルギー—

**INFORMATION** 2012年度 ペアレンツウィークエンド 8月以降の開催日程

夏期休業期間中の窓口案内

青学オープンカレッジ 夏期講座

第19回 青山学院大学同窓祭



相模原キャンパス

特集 学長が語る青山学院大学のこれから

## 共に学び、探究し、世界に発信する大学へ

大学を取り巻く環境が大きく変化する時代に、教育研究機関としての大学はどのようにあるべきでしょうか。高い倫理観と社会性をあわせもった人材を輩出してきた青山学院大学は、次代のニーズに適切に応えるために2013年度に就学キャンパスの再配置を実施するなど、新たに生まれ変わろうとしています。これからの青山学院大学の将来ビジョンと本学が育成する人材像について、平澤典男副学長が仙波憲一学長に聞いていきます。

## 学長 仙波 憲一

1950年生まれ。青山学院大学卒業、青山学院大学大学院修了の後、1984年本学国際政治経済学部に着任。副学長や国際政治経済学部長・国際政治経済学研究所長を歴任して2011年12月より学長。青山学院大学出身者としては初めての学長として、「青山らしさ」を備えた学生の育成に取り組んでいる。

AOYAMA  
GAKUIN  
UNIVERSITY

SEMBA Ken-ichi X HIRASAWA Norio

## 副学長 平澤 典男

1950年生まれ。一橋大学卒業、一橋大学大学院修了の後、1980年本学経済学部に着任。経済学部長・経済学研究所長を歴任して、2011年12月より副学長（広報および将来構想・第二部担当）。2011年の夏休みには学生とともに東日本大震災被災地のボランティア活動に参加。現在はボランティア・ステーションの顧問も務める。

「競争」だけでなく「共生」を  
それが「青山らしさ」の精神

**平澤典男副学長** 仙波学長が就任しておよそ半年がたち、この4月にはこれからの本学のあり方をまとめた学長基本方針①を発表しました。その中で本学がさらに発展していくには「青山らしさ」の精神が大切であると述べていますが、この「青山らしさ」とはどういうものなのでしょうか。

**仙波憲一学長** 本学の教育方針には「キリスト教信仰のもとづく教育をめざし、神の前に真実に生き、真理を謙虚に追求し、愛と奉仕の精神をもって、すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成を目的とする」と記されています。これは特別大きな話ではなく、もっと身近に考えてもらっているのです。自分の友だち、近隣の方々、街で出会うお年寄り、そのような周囲の人たちに積極的に目を向け、声をかけ、気を配る。このような人として大切なことが当たり前のように、「地の塩、世の光」②としてできることが本学の教育の根幹です。それに高等教育機関としての使命と本学の発展の経緯をふまえると、地球規模の問題に対して他者と痛みを共有し、人種や宗教、生まれ育った地域などを問わず、互いに理解し、助け合うこと。これが私の考える「青山らしさ」の精神です。

今の社会には、「競争」と、それに相対するものとして「共生」があるといわれています。実際には競い合うと同時に助け合うことが必要なのですが、本学の学生には共に助け合って生きるという「共生」の精神が特に根づいているように感じています。これは学生時代には自覚するものではないのですが、大学を卒業して社会に出てから人の痛みを共有する優しさが自身の中にあるのを実感すると思います。

**平澤** 本学の学生がもっている「共生」の意識は、豊かな緑とチャペルのあるキャンパスで仲間とともに4年間を過ごすうちに、知らぬ間に身につくものかもしれませんね。本学では以前よりボランティア活動が盛んに行われています。古くは1923年の関東大震

災で、キャンパスが壊滅状態だったにもかかわらず、すぐに救援組織をつくり、無事だった寄宿舎を聖路加国際病院に提供しました。東日本大震災でも帰宅困難者の受け入れや被災地の救援活動にすぐに動き出しました。これらはすべて大学側がおぜん立てをしたわけではなく、学生や教職員の中から自然とそういった動きがでてきたのです。これも「青山らしさ」の表れですね。

**仙波** まさしくそのとおりです。最近はボランティア活動を授業扱いにして単位を出すということが多くの大学で行われていますが、本学の場合は学生たちの側から、自分たちにできることはないかと声があるという形ではじまりました。3.11の震災前、学生たちを宮崎県・新燃岳の噴火被害に対するボランティアとして10日間派遣していたのですが、ボランティア・ステーション③の中核になったのはこのプロジェクトに自費で参加してくれた学生たちなのです。自発的だからこそ、一時の盛り上がりではなく卒業してからもその精神が脈々と息づいていくのではないのでしょうか。大学としても、大々的な復興支援事業を立ちあげるといより、学生が集まって持続的に活動に取り組めるように、きちんと彼らをサポートしていく組織をつくりたいと思っています。

学生一人ひとりが納得のいく進路を実現し、  
世界に発信する大学となるために

**平澤** 「青山らしさ」を語るうえで、「共生」とともに重要なのが、「グローバル」です。現代の学生たちは内向きだという見方もありますが、もっと外国に出ていくようにするには、どうすべきだとお考えでしょうか。

**仙波** 社会的にはそのような声も聞きますが、本学の学生たちが内向きであるとは思っていません。「チャンスがあれば外国に行つて勉強してみたい、働いてみたい」という気持ちを、彼らは一様にもっているような気がします。実際に、まだまだ数としては少ないですが、本学から外国に留学する学生の数は年々増加しています④。

**平澤** 確かにオープンキャンパスなどでも、留学に

## ①学長基本方針

「青山学院大学のチャレンジ～新機軸構築にむけたロードマップ～」と題された、今後の青山学院大学の運営指針。19の具体的施策が明記されており、実現に向けて動きつつある。本学ウェブサイト (<http://www.aoyama.ac.jp/>) の「大学案内」より全文の閲覧が可能。

## ②地の塩、世の光

本学のスクール・モットーで、「新約聖書 マタイによる福音書」からとられた言葉。「塩」は目立たぬとも生命にとって必要不可欠で、腐敗を防ぎ、汚れを清めるもの。「光」はともしびのように人々を導き、明るさと温かさを与えるもの。「地」と「世」はいずれも人間の尊厳を失わせる状況の代名詞であり、そのような中において「塩であり、光である人材を輩出していく」という意味が込められている。

## ③ボランティア・ステーション

学生が主体となって運営している大学公認のボランティア支援組織で、東日本大震災を機に設置された。「ボランティアを必要とする人」と「ボランティアをしたい人」をつなぐ意味でステーションと名付けられた。2011年の夏休みには延べ400人の学生が被災地6か所で復興事業に携わったほか、被災した写真の洗浄事業をキャンパス内で実施。今年の夏休み期間にも被災地ボランティアの実施を計画している。

## ④外国へ留学する学生数

2011年度に本学国際交流センター経由で留学した学生（半年～1年の長期間で留学先での取得単位が本学卒業要件として認められるもの）は81名。2002年度には41名であったことから、この10年間で人数は倍増している。

ついてよく聞かれますね。大学全体で実施している学生意識調査によると、留学意識の高い学生は全国平均よりかなり高くなっています(6)。しかしながら、外国に1年間出てしまうのはリスクが大きいと学生たちが感じているのも事実だと思います。どうすればその意識が取り除けるでしょうか。

**仙波** 留学はしたいけれど、外国に行けない・行かないというのには、3つの理由があります。まず語学力、次に経済的な問題、そして就職活動です。これらすべてを大学だけで解決することはできませんが、少なくとも語学力については、TOEFLやIELTS(6)の対策講座を充実させるなど大学としてサポートできる余地が大いにあります。また、外国で学んだ経験がまったくないのに長期留学をするというのはなかなか決断しにくいことですから、2~3週間程度の短期留学・研修の機会をもっと増やしたい(7)ですね。それをきっかけに「もっと長く外国で学びたい」と思う学生が増えてくるはずですから、留学志願者の背中を押す仕組みを作っていかなければと考えています。

**平澤** 長期留学をするとなると、その1年前から準備をしなければなりません。3年生後期からの就職活動に間に合うように留学するなら2年生からの出発になるので、1年生のうちに準備を始める必要があります。つまり、入学して間もない頃から目標を定めて勉強を始めないといけないということですね。1年生の夏休みなど、早い時期に短期留学を経験する機会を作ることで、留学に向けた意識を高めていきたいですね。

**仙波** 本学はその成り立ちからして国境を越えてきた経緯がありますから、もっと外国に出て学んでほしいですね。ほかの国の社会と文化を学んでこそ、自分の国のことも理解でき、グローバル化が急速に進む社会で活躍できるはずですよ。

**平澤** 就職活動の支援については、どのように考えていますか。留学をはばむ理由のひとつとはいえども、大学卒業後の進路はとても切実で、重要な問題です。本学の進路・就職実績は他大学に比しても高い水準にあります(8)が、この実績をより高めていくためには何ができるでしょうか。

**仙波** 就職活動においては卒業生が応援してくれることが、在学生の大きな支えとなっています。この厳しい時代にあっても高い進路決定率を実現できているのは、もちろん学生たち自身の努力があるからなのですが、内定を得た学生が面接試験でどんな質問をされたかという報告書を残してくれたり、OB・OGが模擬面接や業界説明会などの支援行事に積極的に協力してくれているからでもあります。これらはとても力強い支援だと思っているので、さらに充実させていきたいですね。

**平澤** この20年ほどで、企業の求める人材像も大きく変化してきました。以前は強いリーダーシップをもち、他者を引っ張っていける人が何よりも求められていましたが、現在は他者とのつながりを持ち、協調性やコミュニケーション能力に長けた人材が求められます。企業の方からの評価では、本学の学生はそういった能力にとっても秀でているようです。

**仙波** やはり高度に情報化・専門化の進んだビジネスの現場では共生の力が大切だからでしょう。助け合い、足りない部分をみんなで補って強くなっていく。実際に本学で、学生同士はもちろん卒業生までも協力し合う様子を見てみると、とても心強くなります。上昇志向をもって社会に出て、誰もが即リーダーになれるわけではありません。大学で学んだことを創意工夫し、社会に出てコツコツとみがいて力をつけ、最終的にリーダーとして認められていく。あ

## 「青山らしく」生きていく 学生一人ひとりに期待し、 本学もさらなる前進を



るいはリーダーでなくとも、人と人とのつながりを強化し、仲間と一緒に向上していける人材であれば、それもまた本学の教育方針やスクール・モットーである「地の塩、世の光」を体現してくれているといえます。

大学を卒業したあと、生涯をかけて何を成し遂げたいのか。何のために働き、何のために生きていくのか。大学は、自分の信条や生き方を形成するという広い意味での“キャリアエデュケーション”の場です。就職活動時だけ取りつくるところで成果は出ません。在学中に学力と人間性をしっかりと伸ばし、成長を社会に評価してもらおう。そんな学生をサポートする体制をきちんと用意していきます。

### 青山からも相模原からも、支え合い、 高め合う人材が生まれるように

**平澤** 震災の影響で1年遅らせざるを得ませんでした。2013年度から実施する就学キャンパスの再配置は、本学にどのような変化をもたらすと考えていますか。

**仙波** 2013年度からすべての学部で1年生から4年生・大学院まで同じキャンパスで過ごす体制が整います。これまでは1・2年生中心だった「青山スタンダード」の科目(9)を3・4年生になっても履修しやすくするなど、フレキシブルな学業体制を両キャンパスで整えていきますし、更なる学びを求める学生に対しても大学院との連携を強化するなど、さまざまな方策を考えています。就職活動の面においても、先輩と後輩の交流が増えることでキャリアへの意識が高まるはずですよ。

**平澤** 2003年に開学して今年で10年目を迎える相模原キャンパスは理工学部と社会情報学部が引き続き拠点を置きますが、人文・社会科学系7学部の学生が青山キャンパスに移ることで、学生数は減少します。今後の相模原キャンパスのあり方について伺います。

**仙波** 相模原キャンパスと青山キャンパス、2つのキャンパスが1つの大学として活性化して初めて就学キャンパスの再配置が意味のあるものとなります。確かに学生数は少なくなりますが、キャンパスの特性や地域の環境を踏まえて、本学全体の発展につながるようにしていきたいと考えています。

政令指定都市である相模原市は隣接する町田市も含め、大きな産業集積エリアであり、地元コミュニティから世界にいたるまでを一体的に考えられる地域です。「共生」と「グローバル」の視点をもった人材

を育てていくというのは両キャンパスでかわりませんが、相模原キャンパスでは特にその方針を強く明確にしていきたいと考えています。限りある資源を活用して持続可能な未来を築いていくために、よりよき地球市民となる学生を育成できれば、青山らしい学生の育成につながると思っているので、今後学内で議論を深めていきたいですね。

**平澤** 相模原キャンパスを、本学のグローバル化の象徴となるキャンパスとして位置づけるということでしょうか。

**仙波** そうです。グローバル・キャンパスというコンセプトのもとに、各学部の専門性に加え、国際言語としての英語力と現代社会で求められる高度な情報スキル、そして地球市民としての教養と人間性をしっかりと鍛えあげていきます。理工学部では英語教育の抜本的改善やグローバル性を重視したコースの設置を検討していますし、社会情報学部でも開設当初から徹底的な英語教育を実施しています。情報スキルは両学部の専門性の基盤ですし、そこに「青山スタンダード」で本学ならではの教養を学び人間性を養っていく、という構造です。

**平澤** 1年生から4年生まで同じキャンパスにかよって先輩と後輩がつながるといって一方で、所属する学部によってキャンパスが異なることから、青学生としての一体感が希薄になるのではという心配もあります。

**仙波** そうならないための仕組みの一つとしても、「青山スタンダード」を活用していきます。例えば本学の建学の精神であるキリスト教に関する科目、特にサービス・ラーニングのような社会との接点を意識させる教育を充実させ、青学生ならではの共通意識をもたせたいと思っています。また、スポーツなどの課外活動においては所属キャンパス以外の場所でも取り組む機会があると思いますが、その際にも両キャンパス共通の教育システムである強みが活かされます。文化系の課外活動にしても、それぞれの団体が個別に活動するだけでなく、統一した名称のもとで青山の学生文化を共に発信できる機会を作りたいですね。

青山キャンパスの学生と相模原キャンパスの学生、日本の学生と世界の学生、学部生と大学院生、在学生と卒業生。本学で学ぶすべての人々が「青山らしさ」の精神のもとにつながり、本学で得たことを世界に発信して社会の発展に貢献できる。そのような大学を目指していきます。

**5 留学意識の高い学生**  
2011年度学生意識調査において、1年生3913名の回答を全国データ89015名と比較したところ、語学・留学・国際交流に関する意識が高いという結果が得られた。

**6 TOEFLやIELTS**  
英語圏の協定大学へ留学する際にはこれら語学能力試験のスコア提出が必須となっている。スコアが高いほど留学先の選択肢が広がるが、現在は基準があまり高くない大学に応募が集中し、競争が激化している。

**7 短期留学・研修の機会**  
大学・各学部が主催する1ヶ月未満の短期留学プログラム数は2002年には5種類だったが、2011年度は18種類まで拡充された。なお、大学主催の語学・文化研修はこれまで単位認定外だったが、2013年度より認定単位として扱われる予定。

**8 本学の進路・就職実績**  
10-11ページに掲載。

**9 青山スタンダード**  
本学独自の全学共通教育プログラムで、所属学部の科目とは別に全学部の学生が学ぶ科目群。通称「青スタ」。キリスト教理解、人間理解、社会理解、自然理解、歴史理解という5領域の「教養」と、言葉、身体、情報、キャリアという4領域の「技能」に分けられ、それぞれ基礎的な科目と発展的な科目が用意されている。



# 特集 相模原祭

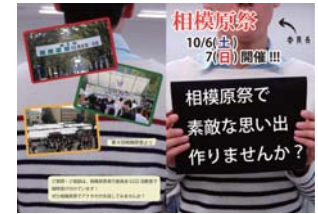
## 地域密着。環境とリンクした

### 今年のテーマは「青学魂」

2003年の相模原キャンパス開学と同時にスタートした相模原祭も今年で10周年を迎えます。展示会、演奏会、各種模擬店のほか、さまざまな特色のある催し物が予定され、地域住民の方たちとの交流を深める機会としても有意義な祭典となっています。この一大イベントを運営する実行委員会の委員長と、注目企画にたずさわる実行委員たちが、それぞれの意気込みを語ってくれました。相模原祭の最新情報は <http://sagamiharasai.com/>

- 相模原祭実行委員会 委員長 齊藤 真彦君 理工学部 物理・数理学科2年

● 昨年度の相模原祭(テーマ「満」)で私たちの心に満ち満ちた青学への思いを、今年は「魂」として打ち出したいと、実行委員会も結束力を固めています。第10回という節目、さらには2013年度の就学キャンパス再配置を控え、各自特別な思いで準備を進めてきました。「来年もまた相模原祭に来たい」と感じてもらえるよう、また毎年お越しくださる地域の方々の期待にも応えられるよう、全力で面白い企画を展開します。ぜひ多くの方々のご来場をお待ちしています。



### さがペラ~届け歌声~

楽器も何も要らない、自分の声だけで人を感動させられる、そんなすごい力をもつ歌で、この学園祭を盛りあげたいと、歌好きの実行委員が立案した新企画です。2~8名編成のグループによるアカペラでの勝ち抜き戦で、ファーストステージからファイナルステージまで、来場者の投票によって勝敗を決定します。歌のジャンルは問わず、振付けなど見応えのあるパフォーマンスも大歓迎。優勝グループには豪華賞品も用意していますので、乞うご期待!



- 左から 金子 由樹さん 社会情報学部 社会情報学科1年
- 土田 泰裕君 理工学部 物理・数理学科2年
- 森本 優駿君 理工学部 機械創造工学科1年



### 青学スポーツ.EXPO

これまでありそうでなかったスポーツ系企画で、箱根駅伝で大活躍した陸上競技部や、全国主要大会で4冠達成を果たした男子バスケットボール部など、すばらしい成績をおさめている青学スポーツの活躍ぶりを学内外にアピールします。各部のPR動画や白熱の試合映像を上映し、選手たちが活躍する姿を捉えた等身大パネルも展示。そのほか、陸上競技部の活動に密着取材した動画は必見です! 観賞後は、応援旗へのメッセージの寄せ書きにもご協力をお願いします。



梶田 采那さん 経営学部 経営学科2年

### 環境戦隊エコレンジャー

地域密着型企画として生まれ、環境への配慮を意識づけてきた企画で、今年で4年目になります。今では地域の催しに招かれるほど認知度を高めたエコレンジャーが、ゴミの分別指導をはじめ、環境を守る大切さを伝えるためにキャンパスのあちこちで来場者とふれあいますが、メインはなんといっても子どもたちを対象とした戦隊ヒーローショー。「資源のリサイクル」をテーマにしたストーリー展開で、例年以上に鮮やかなアクションを披露しますので、どうぞお楽しみに!



- 左から 飯島 愛翔君 社会情報学部 社会情報学科2年
- 丸島 みなみさん 文学部 英米文学科2年



土井 将嗣君 法学部 法学科2年

何か腰を据えてじっくり観られるようなイベントはないものか、とお笑い好きの僕が考案した企画です。漫才、コント、ピン芸、面白ければ何でもOK、参加条件は「青学生であること」のみ。青学にもこんなに面白い人がいるんだと知ってもらい、観てくださる方々の投票によるトーナメント方式で、お笑いのトップを決定します。人気のお笑いサークルも参加予定。ぜひ観に来て、思いきり笑ってください。最高の暇つぶしを提供します。

### 笑撃祭典—青学生で一番面白いのは誰だ!?



### Aoyama College Show モデルとしてランウェイを歩く!

相模原祭で人気の高かったファッションショーとパフォーマンスショーを合体させ、さらにパワーアップ! 音響・照明・ステージで流す映像には他の学生団体の協力を得て、さらに、ミスコン出場者にも登場してもらい、青学魂をテーマにした華やかなショーを展開します。参加学生のセンスが光るファッションと、総勢200~300名が繰り広げるパフォーマンスをお見逃しなく。クラシックバレエで表舞台に立ってきた私たちが初めてステージ裏に目を向け、ショーを盛り上げるための工夫を凝らします。

- 左から 松川 季寿さん 社会情報学部 社会情報学科1年
- 宮崎 真理子さん 社会情報学部 社会情報学科2年

### ナイトハイク

厚木キャンパス時代から続くこの企画は、青山キャンパスから相模原キャンパスまでの42キロを一晩かけて歩くものです。年々人気が高まり、2011年度は150名もの希望者が参加したほどで、今年もかなりの参加人数が予想されます。学部や学年を越え、参加者の体力を考慮してグループを編成し、喜怒哀楽を共にしながら絆を深めて歩き抜く達成感は何ともいえません。コースや休憩場所は、この企画にたずさわるために実行委員になったほどの私たちが、事前にしっかりと確認・確保しますので、どうぞご安心ください。



芸術の本質に五感を駆使して向き合う比較芸術学科  
2013年度には大学院の開設を計画!



文学部比較芸術学科  
浅井 和春 教授

文学部の新たな学びのフィールドとして「比較芸術学科」が発足してから、約3ヶ月が経ちました。芸術には人間の感性や生き方の姿勢が、明確な色彩や形状、旋律、動作などで表現されており、まさしく人類のもつ根源的な能力といえます。本学科では幅広い芸術の中から特に美術・音楽・演劇映像の3分野を対象として、ジャンル、地域、時代を越えて比較・考察していきます。今の時代ならではのオープンキャンパスやオリエンテーション、授業などの感想がすぐにウェブ上に飛び交い、私たち教員の知らぬところで広まっているのです。そのような広がりを目にするたびに、この新学科への大きな期待を感じています。

学生たちに話を聞いてみると、彼らの大部分は入学前から既に何らかの芸術に触れてきた経験をもっています。その内訳はポップ・ミュージックやハリウッド映画が好きという学生から日本舞踊や歌舞伎、管弦楽に取り組んできた学生までさまざまですが、「これなら観た・聴いたことがある」というものがある一方で、まだまだ知らないものが数多くあります。特に本学科で学ぶことになる伝統的・古典的とされる芸術作品には、なじみのない学生が多いようです。

本学科で取りあげる芸術が伝統的・古典的作品に特化しているのは、それらが歴史の波に飲み込まれず大切に守り継がれてきたからであり、現代の

文化・芸術を形作る基礎となっているからです。基礎の部分がなくては、新しいものは生まれてきません。本学科の学生たちにはそれを五感で感じ取ってもらいたい。そのために“本物”の芸術をじっくりと味わい、感じ取ったことを言葉に表すという鑑賞の作法を身につけてもらえるようにカリキュラムを組んでいます。その一環として行っているのが各種の体験授業(右記)です。5月に私が引率した茶道文化体験では学生たちに茶会を体験してもらいましたが、茶道の作法を学ぶことを目的とするのではなく、礼儀作法とは何か、なぜそれが必要か、そこで人間関係をどう作り上げていくかということを身体全体で感じ取ってもらうのが目的でした。

また、2013年度には、大学院文学研究科の中に比較芸術学専攻を開設しようと計画しています。美術、音楽、演劇映像の3分野において芸術を学ぶというのは学部段階と変わりませんが、大学院では高度な専門性をもった研究者・専門家として自立し、社会に貢献できる人材を育成していくために、研究方法論や論文作法を徹底的に身につけてもらいます。比較芸術学科の第一期生卒業を待たずしてスタートするわけですから、当面は主に文学部の各学科で芸術史や演劇映像論を学んだ学生が新たな視点を獲得できるようにしていきます。それぞれが専門とする芸術に重点を置きつつも、“比較芸術学”の研究スタイルを基礎から学び、徐々に専門性を高めていくような形にします。

芸術を学ぶことがなんの役に立つのかと思われるかもしれませんが、本物とそうでないものを見極める審美眼をもち、それを自分の言葉で言い表すことのできる人材というのは、環境・情報・福祉のような現代社会においてニーズの高い分野においても求められているはず。比較芸術学科の学生が世に出ていくのはまだ先ですが、これからの展開にご期待ください。

比較芸術学入門  
体験授業

2012年度スケジュール(予定を含む)



茶道文化体験(5月)

- 4月
  - 東京国立博物館見学
  - 華のん企画公演・チェーホフ「賭け」観劇(池袋・あうるすぽっと)
- 5月
  - 茶道文化体験(大日本茶道学会)
  - 劇団昂による演技ワークショップ(本学相模原キャンパス)
- 6月
  - 「版画の冒険」展見学(町田市立国際版画美術館)
- 10月
  - バッハ・コレギウム・ジャパン レクチャーコンサート
  - メンデルスゾーン《パウルス》鑑賞(青山学院講堂) →詳しくは9ページ
- 12月
  - 文楽鑑賞教室観劇(国立劇場小劇場)
  - 日本フィルハーモニー交響楽団 12月定期公演鑑賞(サントリーホール)

国際ミルトン・シンポジウム 日本開催記念行事  
能『散尊』、「ミルトンと音楽」朗読コンサート

8月20日(月)から24日(金)にかけて、17世紀イギリスの詩人であり近代思想家のジョン・ミルトンに関する国際シンポジウムが、欧米以外では初めて本学で開催されます。会期中には一般公開の特別記念行事が行われます。イギリス文学史のなかでシェイクスピアと並び評されながら、日本では敬遠されがちなミルトン。その芸術性の高さ、時代と文化を越えた作品の普遍性を堪能してください。いずれも学生料金が設定してあります。



能『散尊』  
ミルトンの代表作のひとつである劇詩『闘士サムソン』にもとづく、高橋睦郎氏詞章、辰巳満次郎師主演の新作能で、今回が初演となります。古今東西の文化を融合する画期的な試みをお楽しみください。

「ミルトンと音楽」朗読コンサート  
ミルトンの詩の朗読と詩にもとづく音楽作品(ローズ、ヘンデル、ハイドン)のコンサートです。外国でも定評のあるメゾソプラノ 波多野睦美氏とリュート奏者 つのだたかし氏のデュオのほか、文学部比較芸術学科の那須輝彦教授が指揮、本学聖歌隊が合唱を担当するオラトリオ『サムソン』、『天地創造』を演奏します。

■日程 8月21日(火) 19:00開演  
■場所 千駄ヶ谷 国立能楽堂  
■チケット(全席指定席)  
A席 7,000円、B席 5,000円、C席 3,500円、学生券 2,000円  
青山学院購買会 TEL.03-3409-4401  
受付時間: 休日を除く10:00~17:00  
電話予約および店頭購入(ただし、学生券は店頭購入のみ、購入時・当日学生証提示)

■日程 8月22日(水) 19:00開演  
■場所 ガウチャー記念礼拝堂  
■チケット(全席自由席)  
一般券 3,000円、学生券 1,500円  
青山学院購買会 TEL.03-3409-4401  
受付時間: 休日を除く10:00~17:00  
電話予約および店頭購入(ただし、学生券は店頭購入のみ、購入時・当日学生証提示)

†本多庸一先生召天100周年記念†  
バッハ・コレギウム・ジャパン レクチャーコンサート メンデルスゾーン《パウルス》

バロック音楽を古楽器で演奏するグループとして世界最高峰のひとつに数えられるバッハ・コレギウム・ジャパン。本学でのレクチャーコンサートは今年で9回目を迎え、毎年の恒例行事となっています。音楽におけるバッハの信仰の表現や、バッハが音楽によって表現しようとした内容を、指揮者の鈴木雅明氏が部分的に演奏を切り出しながら丁寧に解説し、それぞれの曲のレクチャーの後に演奏が行われる、というスタイルをとっています。

今年は青山学院の第2代院長である本多庸一先生の召天100周年記念として、フェリックス・メンデルスゾーンのオラトリオ《パウルス》をバッハ・コレギウム・ジャパン史上最大規模の編成で紹介・演奏します。在学生は無料で鑑賞できますので、学生ポータルのお知らせ(7月初旬に発信済み)を確認してください。



■日時 10月11日(木) 18:00開場 18:30開演  
■場所 青山学院講堂  
■チケット(全席自由席)  
青山学院購買会 TEL.03-3409-4401 受付時間: 休日を除く10:00~17:00  
イープラス (http://eplus.jp/) およびバッハ・コレギウム・ジャパン事務局 (TEL.03-3226-5333) でも販売中 一般券 3,000円(在学生・教職員は無料です)

2012年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでキリスト教、アジア、経営工学などさまざまなテーマの講座でみなさまのご参加をお待ちしております。

青山キャンパス	9/29(土)~10/27(土)	毎週土曜日 全5回	Manを出さしめよ	一青山学院院長 本多庸一の信仰と生涯
	11/17(土)~12/15(土)	毎週土曜日 全5回	新しいアジアを知ろう	
	2013年2/22(金)~3/29(金)ただし、3/22(金)を除く	毎週金曜日 全5回	古筆の味わい・古典のたのしみ	

■受講料 無料  
詳細につきましては、大学ウェブサイト (http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/index.html) をご覧ください。庶務部庶務課 公開講座担当

相模原キャンパス	10/13(土)~11/10(土)	毎週土曜日 全5回	『今こそ求められる「社会と情報」をむすぶ視点』(市民大学 青山学院大学コース)
	11/17(土)~12/15(土)	毎週土曜日 全5回	暮らしに役立つ経営工学(市民大学 青山学院大学コース)

■対象 原則として相模原市・座間市に在住か在勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)  
■申込期間 9月1日(土)~9月14日(金)  
■受講料 1,000円  
■問い合わせ先 さがまちコンソーシアム事務局 TEL.042-703-8550

Happy くらす作品コンクール 参加作品募集中!

現在、FD活動(Faculty Development 大学教育改善のための取り組み)として、「Happy くらす作品コンクール」を開催中です。本学での授業の思い出について、学生のみなさんに作品の形で表現していただき、他の学生たちや教職員と広くその思いを共有してほしいと思っています。みなさんの声を聞かせてください。  
テーマ「心に残る授業」  
青学生のみなさんの講義の思い出、心に響いたクラス、自分を変えた授業、目の覚めた講義、元気の出た授業など、講義を通して得た発見や感動、体験、成長などを作品にして応募してください。

応募テーマ  
次の3つのジャンルのいずれかから選んでください。  
① 第1ジャンル: エッセーなど、文章で表現する作品。最大2000字。  
② 第2ジャンル: 詩、俳句、短歌、川柳など、短い韻文で表現された作品。  
③ 第3ジャンル: 漫画(四コマ漫画、ストーリー漫画など)(最大A4サイズ用紙10枚相当。ただし、提出原稿の用紙サイズは自由)。  
注) 応募作品は未発表のものに限ります。また、他者の権利(著作権、肖像権等)を侵害しないように十分な配慮をしてください。  
応募方法  
agufd@aoyamagakuin.jpあてに空メールを送信してください。折り返し、応募用紙を添付のうえ、返信しますので、必要事項を記入して、agufd@aoyamagakuin.jpあてに応募用紙と作品のファイルを添付して提出してください。紙媒体での提出も可能です。発表・選考の詳細は学生ポータル配信記事をご確認ください。  
提出期間  
2012年9月29日(土)必着  
問い合わせ先  
学務部教務課 FD推進委員会事務局(青山キャンパス) TEL.03-3409-7830  
学生支援ユニット学務グループFD活動担当(相模原キャンパス) TEL.042-759-6003

## 2011年度 卒業生の進路・就職状況

2011年度は震災の影響で企業の採用活動が遅れるなど大変厳しい就職環境にありましたが、2012年3月卒業生の進路決定率(就職率75.2%、進学率9.5%)は84.7%で、前年度の83.6%と比べて上昇しました。文部科学省・厚生労働省の就職内定状況調査(2012年2月現在の推計値)によると、大学卒業生全体の就職内定率は59.2%なので、本学の卒業生の就職率はかなり高い水準にあるといえます。

学部別にみると、進路決定率は理工学部が最も高く94.6%でした。理工学部では例年約3分の1の卒業生が大学院へ進学していますが、最近3年間の進学率は2009年度41.6%、2010年度39.6%、2011年度31.3%と減少傾向にあります。

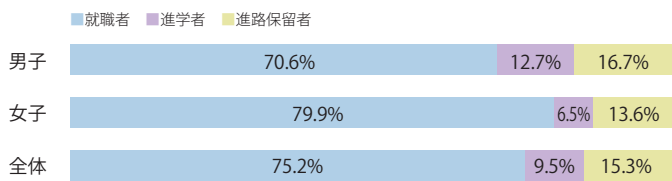
法学部では、公務員試験、法科大学院、各種資格試験などの準備者が多いため、進路保留率が高くなっています。公務員の新規採用が抑えられるなかにあつて、多くの法学部生が公務員試験に合格しています。

2011年度に第一期生を送り出した総合文化政策学部、社会情報学部ではいずれも全体平均を上回る進路決定率となり、新たな学問分野を学んだ学生が社会から評価される結果となりました。同様に初の卒業生を送り出した経済学部現代経済デザイン学科でも、金融・保険業界を中心として優良企業へ多数の学生が就職しました。

本学では今後も、学生一人ひとりが納得のできる進路を実現できるよう、就職環境の変化に対応した進路・就職支援体制の強化に努めてまいります。

### 進路決定状況(全体)

	男子	女子	全体
2012年3月学部卒業生	2079名	2041名	4120名
進路決定者	1728名	1760名	3488名
就職者	1465名	1630名	3095名
進学者	263名	130名	393名
進路保留者	347名	277名	624名
進路届未提出者	4名	4名	8名

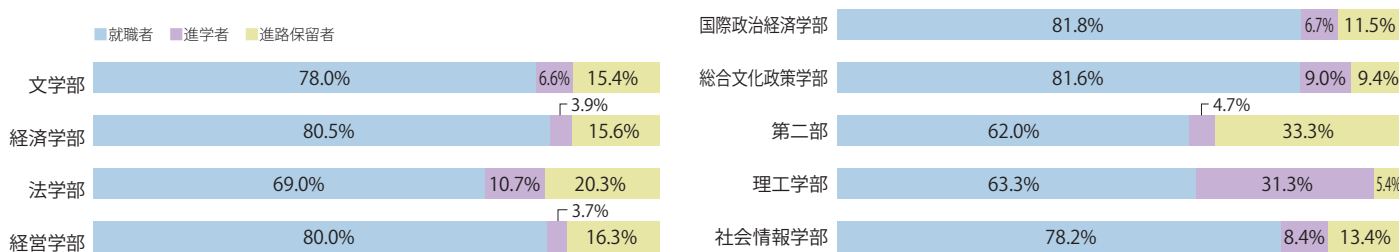


- ・「進路決定者」は「就職者」と「進学者」の合計
- ・「就職者」は新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者の合計
- ・「進学者」は本学大学院、国内他大学・大学院、海外大学・大学院、専門学校へ進学した学生の合計
- ・「進路保留者」は進学・留学準備者、各種試験準備者、ボランティア・主婦(主夫)、就職活動継続者などの合計

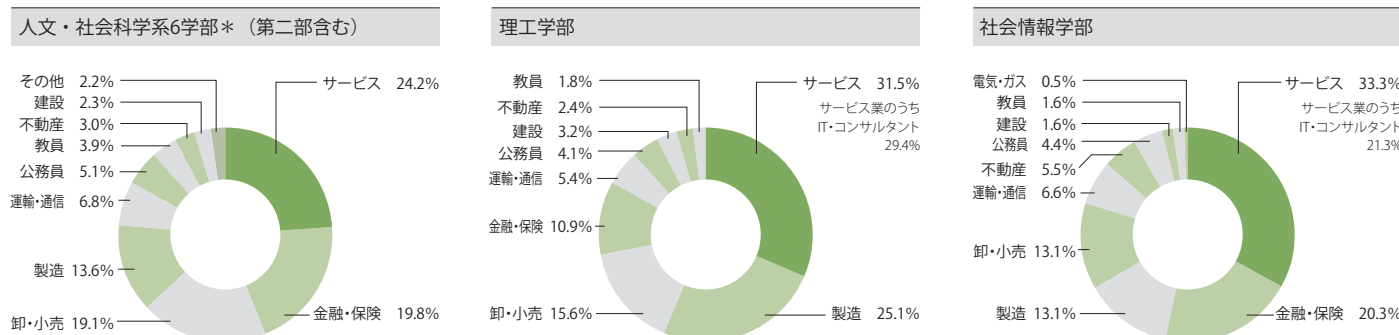
### 進路決定状況(学部別)

\* 教育人間科学部は2012年度に第一期生卒業予定、第二部は文・経済・経営(いずれも募集停止)の合計

	文学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	第二部	理工学部	社会情報学部
2012年3月学部卒業生	1079名	517名	472名	541名	285名	234名	237名	517名	238名
進路決定者	911名	433名	375名	452名	252名	212名	158名	489名	206名
就職者	841名	413名	325名	432名	233名	191名	147名	327名	186名
進学者	70名	20名	50名	20名	19名	21名	11名	162名	20名
進路保留者	166名	80名	96名	88名	33名	22名	79名	28名	32名
進路届未提出者	2名	4名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名



### 業種別就職決定率



\*文学部・経済学部・法学部・経営学部・国際政治経済学部・総合文化政策学部

### 就職者数上位20社

人文・社会科学系6学部	理工学部(理工学研究科博士前期課程含む)	社会情報学部
三菱東京UFJ銀行	東日本旅客鉄道	中央労働金庫
みずほ銀行	エヌ・ティ・ティ・データ	エイチ・アイ・エス
全日本空輸	キヤノン	ジェイアール東日本情報システム
野村證券	三菱電機	ソニー
日本生命保険	日立製作所	日本電気
損害保険ジャパン	日立ソリューションズ	スズキ
三井住友銀行	スタンレー電気	トヨタ自動車
ソフトバンクBB	浜松ホトニクス	川崎重工業
りそな銀行	日本ユニシス	日野自動車
明治安田生命保険	富士ゼロックスアドバンステクノロジー	本田技研工業
郵便局		エヌ・ティ・ティ・データ
楽天		ワークスアプリケーションズ
あいおいニッセイ同和損害保険		フィナンシャル・エージェンシー
エイチ・アイ・エス		資生堂
ファーストリテイリング		ヤマハ
三井住友海上火災保険		日本電気
東日本旅客鉄道		NECモバイルリング
横浜銀行		三井住友銀行
東京海上日動火災保険		野村證券
臨海セミナー		住友不動産販売
		ソフトバンク
		テレビ朝日
		毎日新聞社
		三菱東京UFJ銀行
		みずほ銀行

### 教員採用(専任のみ)

幼稚園/23名(公立1名、私立22名)	小学校/41名(公立40名、私立1名)
中学校/13名(公立13名)*	高等学校/23名(公立11名、私立11名)
高等専門学校/1名(公立1名)	*中高一貫校は高等学校に含む

### 公務員採用

国家公務員/22名(厚生労働省、総務省、国土交通省、農林水産省、文部科学省ほか)
地方公務員/122名
都道府県:東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、宮城県、群馬県、新潟県、栃木県
東京特別区:世田谷区、渋谷区、品川区、板橋区、北区、文京区、杉並区ほか
市町村:横浜市、相模原市、川崎市、町田市、小平市、立川市、大船渡市ほか
警察官・消防官:警視庁、神奈川県警察本部、埼玉県警察本部ほか

### 資本金別 就職決定者数

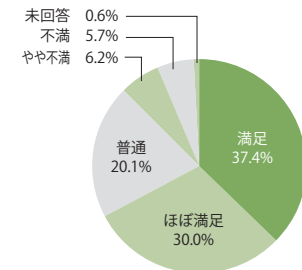
	人文・社会科学系6学部	理工学部	社会情報学部
10億円以上	1247名(52.1%)	186名(57.9%)	98名(53.6%)
1億円以上10億円未満	360名(15.1%)	64名(19.9%)	36名(19.7%)
1億円未満	329名(13.7%)	40名(12.5%)	26名(14.1%)
その他*	456名(19.1%)	31名(9.7%)	23名(12.6%)

\*「その他」には、学校関連、公務員関連、企業詳細不明分などを含む

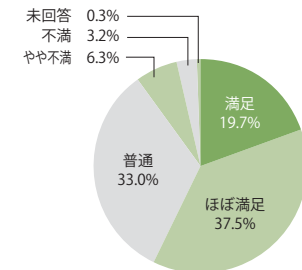
### 進路に関する満足度

#### 青山キャンパス

調査対象:人文・社会科学系6学部 3365名  
回答者:2836名(回収率84.3%)



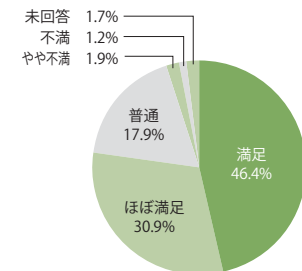
卒業後の進路に対する満足度



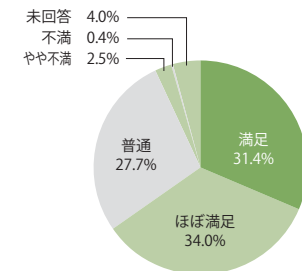
進路・就職支援体制に対する満足度

#### 相模原キャンパス

調査対象:理工学部・理工学研究科、社会情報学部・社会情報学研究科 939名  
回答者:644名(回収率68.6%)



卒業後の進路に対する満足度



進路・就職支援体制に対する満足度

## 誌上公開講座 062



原子力発電と携帯電話には同じ部分がある、というところ驚かれるでしょうか。もちろん、この2つが同じ技術を用いて作られているわけではありません。仕組みはわからないけれども利用することができる、普段は意識しないけれどもリスクがあるかもしれない、今すぐなくなってしまうては困る。私たち一般市民にとって、どのような存在であるかという視点からみると、共通する要素があるという意味です。

大学の全学共通教育システム「青山スタンダード」では、キリスト教、人間、社会、自然、歴史を理解するための授業科目を開設しています。この「科学・技術の視点」は、自然を理解する科目の中でも、だれもが身につけるべき教養のコア(中核)として位置づけられています。さまざまな自然現象のメカニズムなどを学びながら自然科学的なものの見方や考え方を理解し、科学・技術と人間との望ましい関係や、市民が果たすべき役割について具体的な意見をもてるようになることが目的です。

同じ授業名称で「毒と薬」、「色」、「熱」などをテーマとしたものがありますが、このクラスでは「21世紀の課題」をテーマとして、生命科学、環境科学、物理化学、人文地理学を専門



### Aogaku Lecture 6

# 科学・技術の視点

—21世紀の課題 生命・環境・エネルギー—

阿部 文快 | 三條 和博 | 中田 恭子 | 横山 俊一  
理工学部 准教授 | 経済学部 教授 | 理工学部 准教授 | 非常勤講師

とする4名の教員が3つのパートに分かれて授業を行います。原始生命やバイオテクノロジーを学びながら微生物の観察実験を行うパート、現代社会を支える科学・技術の光と陰を知り市民としてどうかかわるべきかを考えるパート、水という身近な資源についての知識を深めながらそれがもたらす災害の現状と今後の課題を考察するパートです。

2010年度までは同じメンバーで「水」を共通テーマとして、自然科学になじみのない学生にも受け入れやすい内容で構成してきました。しかし東日本大震災と原子力発電所の事故によって、科学・技術の限界とこれからのあり方について再考を余儀なくされたことで、現代社会を安全に生きていくためには身につけておくべき知識があるのだと痛感したのです。高校で物理や化学をあまり学習していない学生にとっては理解しづらい部分があるかもしれませんが、それでも高度な科学・技術に支えられた21世紀を安全に生きていくために知っておくべき3つの課題を学べるようにリニューアルしました。

しかしその一方で、この授業を通して本当に身につけてもらいたいのは知識よりも考え方にありののだということに、学生の皆さんに

は気づいてほしいと思っています。私たちが当たり前のように使っている科学・技術の成果物は、多くの場合仕組みのわからないブラックボックスです。そのすべてを知ろうというのは無理ですし、逆にわからないからといって使わずにすませることもできません。初めてのできごとに遭遇した時、たとえ知識はなくても誤った判断をしないで自分自身を守り、大切な人を助けるには、自然科学的なものの見方や考え方を身につけて「知的武装」することが重要なのです。

異なる専門分野をもつ教員による講義は、一見バラバラな印象を抱くかもしれませんが、学び終えたときに「科学・技術の視点」というひとつの授業として定着するように心がけています。ただ教員の話聞くだけでなく、ひとつのテーマについて自分の意見を述べ、周りの学生の声を聞き、小テストや実験に取り組みながら、いろいろな考え方のひとつに自然科学的なものがあるということを主体的に学べたならば、科学・技術と今後どのようにつきあっていけばよいかを考えるきっかけになるでしょう。互いに刺激し合い、新たな視点に気づき、考えを深めていける。そんな授業にしていきたいと願っています。

### Campus Life

## クラブ・サークルインフォメーション

学生団体の活動予定は、今後変更になる可能性があります。【問い合わせ先 学生部学生課 TEL.03-3409-7835】

### 主要活動予定(2012年8月～10月)

- アイススケート部(ホッケー部門) ●関東大学アイスホッケーリーグ戦(10月)
- アイススケート部(フィギュア部門) ●東日本学生フィギュアスケート選手権大会(10月)
- アメリカンフットボール部 ●関東大学アメリカンフットボールリーグ戦(9～11月)
- 居合道部 ●東日本学生居合道大会(10月)
- 空手道部 ●関東大学空手道選手権大会(10月)
- 弓道部 ●全日本学生弓道選手権大会(8月) 平成24年度リーグ戦(9月)
- 剣道部 ●関東学生剣道優勝大会(9月)
- 拳法部 ●東日本大学選手権大会(10月)
- 航空部 ●原田覚一郎杯対抗グライダー競技会(8月)
- 硬式庭球部 ●全日本学生テニス選手権大会(8月) 関東学生テニスリーグ戦(9月)
- 硬式野球部 ●東都大学野球秋季リーグ戦(9～10月)
- ゴルフ部 ●関東大学秋季ブロック対抗戦(9月)
- サッカー部 ●関東大学サッカーリーグ戦(9～11月)
- 自動車部 ●全日本学生ダートトライアル・ジムカーナ選手権大会(8月)
- 射撃部 ●秋季関東学生ライフル射撃選手権大会(9月)
- 柔道部 ●東京学生柔道体重別選手権大会(9月)
- 準硬式野球部 ●東都大学準硬式野球秋季リーグ戦(9～10月)
- 水泳部 ●関東学生選手権水泳競技大会(8月)
- ソフトテニス部 ●関東学生ソフトテニス秋季リーグ戦(10月)
- 卓球部 ●関東学生卓球秋季リーグ戦(9月)
- チアリーディング部 ●チアリーディング日本選手権大会(8月)
- 軟式野球部 ●東都大学軟式野球連盟秋季リーグ戦(9～10月)
- バスケットボール部 ●関東大学バスケットボールリーグ戦(9～10月)
- 馬術部 ●関東学生馬術競技会(10月)
- バドミントン部 ●関東大学バドミントン秋季リーグ戦(9月)
- バレーボール部 ●秋季関東大学バレーボールリーグ戦(9～10月)
- ハンドボール部 ●関東学生ハンドボール秋季リーグ戦(9～10月)
- フェンシング部 ●関東学生フェンシング選手権大会(10月)
- 洋弓部 ●関東学生アーチェリー連盟 個人選手権大会(8月)
- ヨット部 ●関東学生ヨット秋季選手権大会(10月)
- ラグビー部 ●関東大学対抗戦Aグループ(9～11月)
- レスリング部 ●全日本学生選手権(8月)

- 陸上競技部(長距離ブロック) ●出雲全日本大学選抜駅伝大会(10月)
- 陸上競技部(短距離ブロック) ●日本学生陸上競技対校選手権大会(9月)
- ラクロス部 ●関東学生ラクロスリーグ戦(8～11月)
- 吹奏楽/バトントワリング部 ●東京都大学バトン連盟バトンオンパレード(8月)
- アナウンス研究会 ●カタクリコ・トライアル・チャンピオンシップ(8月)
- English Speaking Society (E.S.S) ●フレッシュマン院内スピーチコンテスト(10月)
- オーケストラ部(青山学院管弦楽団) ●国外演奏旅行(ドイツ)(9月)
- 競技ダンス部 ●東都大学学生競技ダンス選手権大会(10月)
- 箏八研究部 ●定期演奏会(10月)
- リズムマンドリーノ ●全日本マンドリン連盟演奏会(8月)
- ロイヤルサウンズジャズオーケストラ ●山野ビッグバンドジャズコンテスト(8月)

### 主要活動報告(2012年4月～7月)

- 硬式野球部 ●東都大学野球春季リーグ戦 1部2位
- ソフトテニス部(女子) ●関東学生ソフトテニス春季リーグ戦 1部3位
- 卓球部(女子) ●関東学生卓球春季リーグ戦 2部1位(1部昇格)
- バスケットボール部(男子) ●関東大学バスケットボール選手権大会 優勝 関東大学バスケットボール新人戦 3位
- バレーボール部(女子) ●春季関東大学バレーボールリーグ戦 1部2位
- 陸上競技部 ●関東学生陸上競技対校選手権大会 男子 2部2位(1部昇格) 女子 1部4位
- 陸上競技部(短距離ブロック) ●アジアジュニア陸上競技選手権大会 須田有加 女子走幅跳 3位 日本陸上選手権大会 佐藤大志 男子110mH 6位 日本陸上選手権大会 伴野里緒 女子200m 5位 日本陸上選手権大会 鳥原早貴 女子400m 5位 日本陸上選手権大会 上田美鈴 女子100mH 8位
- 陸上競技部(長距離ブロック) ●アジアジュニア陸上競技選手権大会 神野大地 男子10000m 2位 アジアジュニア陸上競技選手権大会 高橋宗司 男子10000m 3位
- レスリング部 ●明治杯全日本選抜選手権 グレコローマンスタイル84kg 菊池峻 3位
- オーケストラ部(青山学院管弦楽団) ●第100回記念定期演奏会(5月)
- English Speaking Society (E.S.S) ●大木杯スピーチコンテスト(7月)
- ギターアンサンブル ●関東学生ギター連盟定期演奏会(6月)
- リズムマンドリーノ ●ジョイントコンサート(5月)
- グリーンハーモニー合唱団 ●東京六大学混声合唱連盟 定期演奏会(5月)
- ロイヤルサウンズジャズオーケストラ ●トライアングルコンサート(6月)

### For Parents

## 2012年度 ペアレンツウィークエンド 8月以降の開催日程

キャンパス開催のペアレンツウィークエンドには多くの方々にご参加をいただき、ありがとうございました。引き続き8月・9月には右記の地区での開催を予定しております。参加のお申込みは5月にお届けしたご案内に同封の専用ハガキ、もしくは本学ウェブサイトをご確認ください。みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

### 開催内容

時間	内容
10:00～10:30	受付 (DVDによる学校紹介)
10:30～12:30	全体説明会
12:30～13:30 (14:00※)	昼食会(立食) ※名古屋・福岡会場のみ14:00まで
13:30～15:00	個別面談(希望者のみ)



地区全体説明会(鹿児島)



学部全体説明会(青山キャンパス)



問い合わせ先: 庶務部庶務課 ペアレンツウィークエンド担当 TEL.03-3409-8568 <http://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/>

### 地区開催

会場	開催日	開催場所
松江	8月4日(土)	松江東急イン
松山	8月4日(土)	松山全日空ホテル
広島	8月18日(土)	ホテルグランヴィア広島
大阪	8月19日(日)	ホテルグランヴィア大阪
名古屋	8月19日(日)	キャッスルプラザ
水戸	8月25日(土)	三の丸ホテル
新潟	8月26日(日)	ホテルオークラ新潟
佐賀	9月1日(土)	ホテルニューオータニ佐賀
福岡	9月2日(日)	ホテルニューオータニ博多
山形	9月8日(土)	ホテルメトロポリタン山形

お住まい近くの会場に限らず、どの会場にもご出席いただけます。

### For Parents

## 「青山学院 エバーグリーン募金」のご案内

「青山学院 エバーグリーン募金」のもとに、目的別の募金活動を行っております。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

### 本多記念国際会議場建築募金

青山学院初の日本人院長である本多庸一先生を記念し、大学17号館6階に設けられた「本多記念国際会議場」の建築資金に充当する募金です。

### 青山学院維持協力会募金

青山学院の財政基盤の確立を側面から支援していただく経常型の募金です。

### 青山学院奨学金募金

勉学・課外活動に燃える青山学院生を経済的側面からご支援いただくことにより、学生生活の充実を図ることを目的とした募金です。

ご協力いただける場合は募金事務局へご連絡ください。資料をお送りいたします。

募金事務局(間島記念館1階) TEL.03-3409-6208 FAX.03-3409-3890

Campus Life

## 夏期休業期間中の窓口案内 対象期間 8/6(月)～9/20(木)

- 8/12までは一斉休業期間として、すべての窓口を閉室します。ただし、8/6(月)のみ追試験受付を行います。
- 8月中の水曜日(8/15、8/22、8/29)は閉室します。
- 備考に記載がある場合を除き、(1)土日祝日は閉室します (2)9/21(金)より平常どおりです。
- 移転・改修工事が予定されている部署では、通常の窓口業務を行わない日程があります。詳細は大学ウェブサイトをご覧ください。

部署	月～金 取扱時間	備考
学長室	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
庶務部	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
学術研究推進部	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	夏期休業期間中に14号館2階に移転予定
学務部教務課	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	8/6(月)は13:00～19:00 追試験受付のみ対応 9/10～9/18は9:00～19:00 開室。ただし、証明書受付は16:00まで
学務部教職課程課	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
学生部	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
進路・就職センター	9:00～15:30 (11:30～12:30は窓口休止)	資料室は16:00まで開室 個別相談受付は9:30～11:00、12:30～15:00 予約は必要ありません
図書館	9:00～19:00	土曜日は12:00～19:00 開館 9/10(月)より平常どおり 8/13～8/18は工事のため一部のフロアは利用不可 詳細は図書館ウェブサイト ( <a href="http://www.agulin.aoyama.ac.jp/">http://www.agulin.aoyama.ac.jp/</a> ) で確認してください 休館中の本の返却は図書館正面のブックポストに入れてください
大学院事務室	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
専門職大学院事務室	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	夏期休業期間中に17号館2階に移転予定
広報入試センター	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
総合研究所事務室	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	夏期休業期間中に14号館2階に移転予定
情報科学研究センター	9:00～19:00	9/15(土)は9:00～19:00 開室 詳細は情報科学研究センターウェブサイト ( <a href="http://www.cc.aoyama.ac.jp/">http://www.cc.aoyama.ac.jp/</a> ) の開室カレンダーで確認してください
国際交流センター	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり
外国語ラボラトリー	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	8/24(金)は閉室 AVライブラリー等施設開室日は左記と異なりますので、 外国語ラボラトリーウェブサイト ( <a href="http://www.agufl.aoyama.ac.jp/">http://www.agufl.aoyama.ac.jp/</a> ) で確認してください
学生相談センター	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり 改修工事のため、夏期休業期間中は5号館1階に臨時移転予定
保健管理センター	9:00～15:30 (11:30～12:30は窓口休止)	改修工事のため、夏期休業期間中は5号館1階に臨時移転予定
財務部 大学青山経理グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	現金取扱は15:00まで
財務部 本部財務グループ・本部資金グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり
宗教センター	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
資料センター	火のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり *平常期間の青山キャンパス開室は火・土のみです(予約制) 資料閲覧希望の場合は、3日前までに電話にて連絡してください

青山キャンパス

ユニット	グループ	月～金 取扱時間	備考
学生支援ユニット	学務グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	8/6(月)は9:00～11:30 追試験受付のみ対応
	進路グループ	火・金のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
	学生生活グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
	国際交流グループ	火・金のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり
	健康管理グループ(保健管理センター)	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
教育・学習支援ユニット	健康管理グループ(学生相談センター)	火・金のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
	授業支援グループ	火・金のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
	情報教育支援グループ(情報科学研究センター)	9:00～16:00	9/18～9/20は9:00～17:00 開室 詳細は情報科学研究センターウェブサイト ( <a href="http://www.cc.aoyama.ac.jp/">http://www.cc.aoyama.ac.jp/</a> ) の開室カレンダーで確認してください
	図書グループ(万代記念図書館)	9:00～16:00	9月の土曜日(9/1、9/8、9/15)は12:00～16:00開館
研究支援ユニット	メディアライブラリーグループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18～9/20は9:00～17:00 開室 詳細はメディアライブラリーウェブサイト ( <a href="http://www.agufl.aoyama.ac.jp/">http://www.agufl.aoyama.ac.jp/</a> ) で確認してください
	研究支援グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
庶務ユニット	企画・渉外グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
	庶務グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
施設ユニット	施設グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	
	財務部大学相模原経理グループ	9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	現金取り扱いには15:00まで
	宗教センター	火・金のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり
	資料センター	月・木・金のみ 9:00～16:00 (11:30～12:30は窓口休止)	9/18(火)より平常どおり 資料閲覧希望の場合は、3日前までに電話にて連絡してください

相模原キャンパス

For Parents

## 大学学費 後期納付のご案内(学部) ※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

### 【納付期限】10月1日(月)

- 振込依頼書について
  - 2011年度以前入学者
 

4月中旬にお送りした学費振込依頼書の「B 後期分」をご利用ください。  
なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月2日(月)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。
  - 2012年度入学者
    - 入学手続時に前期分の学費を納入された方
 

7月2日(月)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。
    - 入学手続時に前後期分の学費を一括納入された方
 

教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月2日(月)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

### 2) 納付にあたって

入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を希望される場合は、学費振込依頼書と同封の案内文に記載されている注意事項に従って手続きしてください。

### 4年次において留年した学生の後期分学費納付について

4年次で留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。振込依頼書は10月中旬発送予定です。

### 【納付期限】11月12日(月)

- 前期分学費を所定の学費で納入した方
 

→後期の学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。  
前期・通年科目申請単位数で、すでに「年間所定の学費上限金額」に達しています。  
そのため、後期科目申請単位数に関係なく、前期分・後期分とも所定の学費を適用します。
- 前期に申請単位計算学費で納入した方
 

→後期学費は、下記の計算式で算出した、単位計算学費となります。  
ただし、上記で算出した後期分の単位計算学費と前期納入済金額の合計が「年間所定の学費上限金額」に達した場合は、下記の計算式で算出した金額を適用します。

- 分納・延納について
 

学生ポータルに掲載しています。

- 学費に関するご相談・お問い合わせ
 

振込依頼書裏面記載の《ご相談・お問い合わせ先》にご連絡ください。

2012年度後期学費一覧表(2009～2012年度入学生) 単位:円

学部	金額
文学部	391,500
教育人間科学部	
経済学部	
法学部	
経営学部	
国際政治経済学部	565,500
総合文化政策学部	
理工学部	478,500
社会情報学部	246,000
文学部第二部※	

○教職・各種資格課程を申請した方は別途課程料が加算されます。  
○休学、留年、卒業延期、転部、転学部・学科、編入学、再入学をした方は、左記学費一覧表と異なる金額が適用される場合があります。  
※文学部第二部英米文学科は2011年度より募集停止しました。

振込依頼書再発行のご依頼(未着、汚破損、紛失など)・納入必要予定額の確認は、財務部本部資金グループにお問い合わせください。  
財務部本部資金グループ TEL.03-3409-6479(直通)

Open College

## 青学オープンカレッジ 夏期講座

夏期休業中に開催される「青学オープンカレッジ」(有料)では、学外機関の協力を得て行われるミュージカル鑑賞講座、歌舞伎鑑賞講座などをはじめとして、本学の特色を生かしたさまざま

まな講座を開講しています。詳細は右記のウェブサイトをご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

問い合わせ先：青学オープンカレッジ事務局  
TEL. 03-3409-8501 <http://www.j-aoyama.jp>

For Alumni

## 第19回 青山学院大学同窓祭 AOYAMA GREEN FESTIVAL 2012

今年の青山学院大学同窓祭「AOYAMA GREEN FESTIVAL 2012」は、どなたでも無料でご入場いただけます!会場内での買い物やイベントに参加される際は、ポイントチケット「イーゴ券」が必要となります。

2012年 9月23日(日) 9:00～17:00

前売 2000円  
(100イーゴ20枚綴り・福引抽選券2枚付)  
当日売 1000円  
(100イーゴ10枚綴り・福引抽選券なし)

問い合わせ先：青山学院大学同窓会実行委員会事務局  
[月～金 10:00～16:00]  
TEL.03-3409-8990 <http://aogaku-doso.jp/>



主催：青山学院校友会大学部会 協力：青山学院校友会、青山学院女子短期大学同窓会、青山学院高等部同窓会、中等部緑窓会、くすのき会、いとすぎの会



### 2013年度 入学試験日程

	学部	学科(方式等)	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日	
大学入試センター試験利用入学試験	全ての学部	全ての学科(全教科型)	1月4日(金)~1月19日(土)	1月19日(土) 1月20日(日)	2月14日(木)	2月21日(木)	
	《全学部日程》	全ての学科(全方式)	1月4日(金)~1月23日(水)	2月7日(木)	2月14日(木)	2月21日(木)	
一般入学試験	理工学部	物理・数理 化学・生命科 電気電子工 機械創造工 経営システム工 情報テクノロジー各学科(A)	1月4日(金)~1月26日(土)	2月10日(日)	2月17日(日)	2月25日(月)	
		物理・数理 化学・生命科 電気電子工 機械創造工 経営システム工 情報テクノロジー各学科(B)		2月11日(日)			
	文学部	英米文学科(A) フランス文学科(A) 日本文学科(B) 比較芸術学科		2月13日(水)	2月21日(木)	2月28日(木)	
	教育人間科学部	教育学科 心理学科		2月14日(木)			
	文学部	英米文学科(B) フランス文学科(B) 日本文学科(A) 史学科					
	総合文化政策学部	総合文化政策学科(A)					
	社会情報学部	社会情報学科(A・B)		2月15日(金)	2月24日(日)	3月4日(月)	
	経営学部	経営 マーケティング各学科(A)					
	法学部	法学科(A)		1月4日(金)~1月30日(水)	2月18日(月)	2月25日(月)	
	国際政治経済学部	国際政治学科(A・B) 国際経済学科 国際コミュニケーション学科(A・B)			2月19日(火)		
	経済学部	経済 現代経済デザイン各学科(A・B)		1月4日(金)~2月6日(水)	2月21日(木)	2月27日(水)	3月6日(水)
	法学部	法学科(B)					
	経営学部	経営 マーケティング各学科(B)					
	総合文化政策学部	総合文化政策学科(B)					

### オープンキャンパス 8月の開催日程

2012年度のオープンキャンパス来場にあたっては、事前の申込をお願いしています。特に各学部学科紹介・模擬授業などの企画は定員になり次第受付を締め切らせていただきますので、ご注意ください。本学ウェブサイト(PC、スマートフォン、携帯電話)からお申し込みいただけます。

**8月24日(金) 10:00~16:00**

対象学部 文学部・教育人間科学部  
国際政治経済学部・理工学部

**8月25日(土) 10:00~16:00**

対象学部 経済学部・法学部・経営学部  
総合文化政策学部・社会情報学部



[http://www.aoyama.ac.jp/admission/undergraduate/open\\_campus/open\\_campus.html](http://www.aoyama.ac.jp/admission/undergraduate/open_campus/open_campus.html)

## Club & Circle 13 演劇研究会

### メンバー一丸となって、達成感を味わうことができます

演劇研究会は、男子26名、女子21名、合計47名のメンバーで構成されています。役者はもちろん、企画、脚本、音響、照明、大道具、小道具など、各々の興味に応じて役割を分担しながら活動に励んでいます。主な活動は、4月の新入生歓迎公演、6月の新人公演、秋の公演という年3回の定期公演。会場は、青山キャンパス内の教室や都内の芝居小屋が中心です。学内の活動以外に、メンバー同士でユニットを組んだり、外部団体に参加する人もいます。

6月の新人公演は、1年生だけで行うため苦労することも多いのですが、たくさんの人と関わりながら責任をもって舞台を作りあげるといった初めての経験は、メンバー全員の印象に強く残ります。演劇という活動の特性上みんなとても仲が良く、先輩・後輩の上下関係もほとんどないため、とても打ち解けやすい環境だと思います。役者、スタッフが一丸となって一つの舞台をつくり上げる楽しさ、達成感は格別です。

(部長:文学部史学科2年 柿内光)



## AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2012青山学院大学

- AGUニュースのバックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
  - AGUニュースを確実に保証人の方へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。
- 事務取扱窓口 青山キャンパス→学生部厚生課  
相模原キャンパス→チューデントセンター・学生生活グループ



発行元：青山学院 本部広報部  
TEL.03-3409-6578

●2012年7月27日発行●